

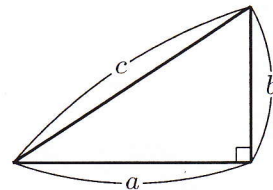
注意.

- 三平方の定理に馴染みのない者は問題 1 から解くこと.
- 問題 2, 3, 5, 6, 7 は全員が必ず解くこと (この順番で優先的に).
- プリント p.3 の「加法定理」は公式の記述が不十分です. 教科書を見て公式を書き写してください.
- 問題 4, 8 は上の問題が解き終わった後, じっくり考えてみよ.

三平方の定理 (ピタゴラスの定理)

直角三角形の斜辺の長さが  $c$ , 他の 2 辺の長さが  $a, b$  のとき,  $a, b, c$  は以下の関係を満たす;

$$c^2 = a^2 + b^2$$



問題 1. 次の図中の  $x$  を三平方の定理を用いて求めよ.

(1) 正三角形

$$1^2 = \left(\frac{1}{2}\right)^2 + x^2$$

$$= \frac{1}{4} + x^2$$

$$x^2 = \frac{3}{4} \quad \therefore x = \frac{\sqrt{3}}{2}$$

(2) 直角二等辺三角形

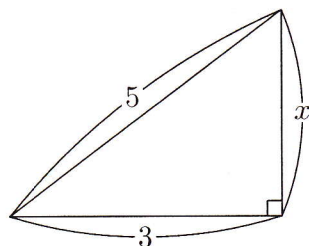
$$1^2 = x^2 + x^2$$

$$1 = 2x^2$$

$$x^2 = \frac{1}{2}$$

$$\therefore x = \frac{1}{\sqrt{2}}$$

(3)



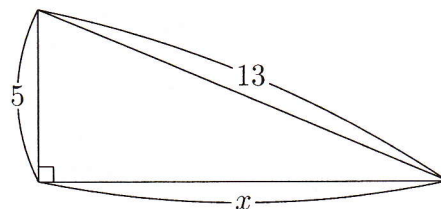
$$5^2 = 3^2 + x^2$$

$$25 = 9 + x^2$$

$$\therefore x^2 = 16$$

$$x = 4$$

(4)



$$13^2 = 5^2 + x^2$$

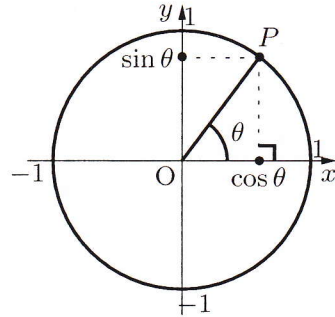
$$169 = 25 + x^2$$

$$x^2 = 144$$

$$x = 12$$

三角関数

半径 1 の円周上の点  $P$  に対し、 $x$  軸の正の部分とのなす角が  $\theta$ （ただし  $\theta$  は一般角）であるとき、点  $P$  の  $x$  座標の値を  $\cos \theta$ 、 $y$  座標の値を  $\sin \theta$  と定義する； $P = (\cos \theta, \sin \theta)$ ,



$\sin \theta$  :  $\theta$  の正弦

$\cos \theta$  :  $\theta$  の余弦

$\tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta}$  :  $\theta$  の正接

問題 2. 次の三角関数の値を求めよ。（関連問題 教科書 p.77 問題 4.2）

- (1)  $\sin \frac{\pi}{3}$   $\frac{\sqrt{3}}{2}$  (2)  $\sin \left(-\frac{\pi}{6}\right)$   $-\frac{1}{2}$  (3)  $\sin \frac{5\pi}{4}$   $-\frac{\sqrt{2}}{2}$  (4)  $\sin \frac{\pi}{2}$  1 (5)  $\sin 0$  0  
 (6)  $\cos \frac{\pi}{3}$   $\frac{1}{2}$  (7)  $\cos \left(-\frac{\pi}{6}\right)$   $\frac{\sqrt{3}}{2}$  (8)  $\cos \frac{5\pi}{4}$   $-\frac{\sqrt{2}}{2}$  (9)  $\cos \frac{\pi}{2}$  0 (10)  $\cos 0$  1  
 (11)  $\tan \frac{\pi}{3}$   $\sqrt{3}$  (12)  $\tan \left(-\frac{\pi}{6}\right)$   $-\frac{1}{\sqrt{3}}$  (13)  $\tan \frac{5\pi}{4}$  1 (14)  $\tan \frac{\pi}{2}$  定義できない (15)  $\tan 0$  0

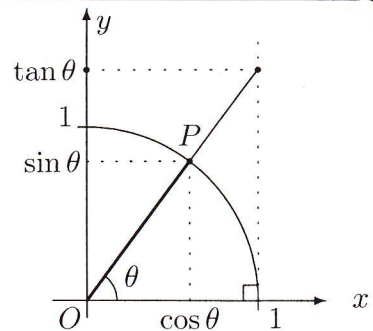
問題 3. 与えられた  $\theta$  に対して、 $\sin \theta, \cos \theta, \tan \theta$  の符号（正、負）がどうなるか考えて、下表の空欄に「正」または「負」を書きなさい。

	$0 < \theta < \frac{\pi}{2}$	$\frac{\pi}{2} < \theta < \pi$	$\pi < \theta < \frac{3\pi}{2}$	$\frac{3\pi}{2} < \theta < 2\pi$
$\sin \theta$	正	正	負	負
$\cos \theta$	正	負	負	正
$\tan \theta$	正	負	正	負

正接の幾何学的意味

$$\text{正接} : \tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta}$$

正接の定義から、 $\tan \theta$  は直線  $OP$  と直線  $x = 1$  との交点の  $y$  座標と解釈できる。



問題 4. 「正接の幾何学的意味」で述べたことが正しいことを説明（証明）せよ。

三角関数の性質

- (1)  $\sin^2 + \cos^2 \theta = 1$  (ただし,  $\sin^2 \theta = (\sin \theta)^2$  を意味する).
- (2) 整数  $n$  に対して,  $\sin(2n\pi + \theta) = \sin \theta$
- (3) 整数  $n$  に対して,  $\cos(2n\pi + \theta) = \cos \theta$
- (4)  $\sin(-\theta) = -\sin \theta$
- (5)  $\cos(-\theta) = \cos \theta$
- (6)  $\sin(\theta + \frac{\pi}{2}) = \cos \theta$
- (7)  $\cos(\theta + \frac{\pi}{2}) = -\sin \theta$

問題 5. 「三角関数の性質」が正しいことを説明せよ ((1) は定義から明らかである. (2) ~ (7) については単位円 (半径が 1 の円) を描いて主張が正しいことを確かめよ).

問題 6.  $\sin \theta = -\frac{5}{13}$  とする (ただし,  $\frac{3\pi}{2} < \theta < 2\pi$ ).

- (1)  $\cos \theta$  の値を求めよ.
- (2)  $\tan \theta$  の値を求めよ.

$\cos^2 \theta = 1 - \sin^2 \theta = 1 - (\frac{5}{13})^2 = \frac{169-25}{169} = \frac{144}{169}$   
 $\therefore \cos \theta = \pm \sqrt{\frac{144}{169}} = \pm \frac{12}{13}$   
 $\because \frac{3}{2}\pi < \theta < 2\pi$   $\therefore \cos \theta > 0 \therefore \cos \theta = \frac{12}{13}$

加法定理

- (加-1)  $\sin(\alpha + \beta) = \sin \alpha \cos \beta + \sin \beta \cos \alpha$
- (加-2)  $\sin(\alpha - \beta) = \sin \alpha \cos \beta - \sin \beta \cos \alpha$
- (加-3)  $\cos(\alpha + \beta) = \cos \alpha \cos \beta - \sin \alpha \sin \beta$
- (加-4)  $\cos(\alpha - \beta) = \cos \alpha \cos \beta + \sin \alpha \sin \beta$

$\tan \theta = \frac{-\frac{5}{13}}{\frac{12}{13}} = -\frac{5}{12}$

問題 7. 加法定理を用いて,  $\sin \frac{\pi}{12}, \cos \frac{\pi}{12}$  の値を求めたい. (関連問題 教科書 p.85 問題 4.4)

- (1)  $\frac{\pi}{12}$  を  $\frac{\pi}{3}$  と  $\frac{\pi}{4}$  を用いて表せ.
- (2) 加法定理を用いて  $\sin \frac{\pi}{12}$  を計算せよ.
- (3) 加法定理を用いて  $\cos \frac{\pi}{12}$  を計算せよ.

$\frac{\pi}{12} = \frac{\pi}{3} - \frac{\pi}{4}$   
 $\sin \frac{\pi}{12} = \sin \frac{\pi}{3} \cos \frac{\pi}{4} - \cos \frac{\pi}{3} \sin \frac{\pi}{4}$   
 $= \frac{\sqrt{3}}{2} \cdot \frac{\sqrt{2}}{2} - \frac{1}{2} \cdot \frac{\sqrt{2}}{2} = \frac{\sqrt{6}-\sqrt{2}}{4}$

問題 8. (加-1) 式と三角関数の性質 (4)~(7) を用いて, 加法定理の残りの公式 (加-2), (加-3), (加-4) を導きだせ. (教科書 p.85 参照)